

平成13年度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施設の概要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出版物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿革

昭和10年 釧路市立博物館設立委員会が発足。
 昭和11年7月14日 幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所2階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
 昭和24年2月1日 旧市役所庁舎拡張のため、北大通5丁目(株)丸三鶴屋3階を借り受け移転開館。
 昭和26年7月28日 鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
 昭和27年1月20日 釧路市立郷土博物館新聞創刊(現在の館報)。
 昭和27年4月1日 釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。(文部省告示第13号)
 昭和27年10月30日 釧路市立博物館が博物館として指定された。(文部省告示第162号)
 昭和32年7月2日 第5回全国博物館大会釧路市で開催。
 昭和33年4月1日 入館料が有料となる(大人10円、学生5円)。
 昭和35年4月1日 館内資料展示替え、5年計画で開始。
 昭和40年7月8日 第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
 昭和41年7月14日 創立記念30周年記念事業開催。
 昭和42年1月14日 博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
 昭和44年9月3日 安倍寛次コレクション 3,536点寄贈される。
 昭和46年4月24日 釧路市立郷土博物館友の会発足。
 昭和48年9月 釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会発足。
 昭和52年10月4日 釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
 昭和55年6月18日 釧路市立郷土博物館新館展示等委員会発足。
 昭和56年5月1日 新築工事開始。
 昭和58年11月3日 「釧路市立博物館」として開館。
 昭和59年7月6日 第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
 昭和61年7月13日 創立50周年記念式典・祝賀会開催。
 昭和62年10月6日 第35回全国博物館大会釧路市で開催。
 平成元年2月9日 昭和63年度全国博物館指導者研究協議会(庶務・自然史部門)釧路市で開催。
 平成3年11月6日 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1) 所在地	釧路市春湖台1番7号		
(2) 総事業費	1,911,326,000円		
(3) 敷地面積	4,450.00㎡		
(4) 建築面積	1,528.78㎡		
(5) 延床面積	4,301.76㎡		
(6) 建築構造	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階		
(7) 工期	建築工事着工 昭和56年5月1日 竣工 昭和58年6月30日	展示工事着工 昭和57年6月4日 竣工 昭和58年10月15日	
(8) 各階面積			
1 階	1,500.09㎡	4 階	755.78㎡
2 階	886.75㎡	塔 屋	145.65㎡
3 階	571.17㎡	地 下	422.30㎡
(9) 主室面積			
展示室	1,162.88㎡ (1.24階)	市民研究室	21.84㎡ (3階)
講 堂	165.89㎡ (1階)	図書室	103.39㎡ (3階)
工作室	103.78㎡ (1階)	実験室	15.54㎡ (3階)
滅菌消毒室	12.39㎡ (1階)	冷凍室	10.92㎡ (3階)
事務室	86.63㎡ (1.2階)	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡ (3階)
特別展示室	97.95㎡ (2階)	印刷室	11.13㎡ (3階)
魚類収蔵庫	30.53㎡ (2階)	会議室	44.15㎡ (3階)
開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2階)	植物収蔵庫	30.48㎡ (4階)
応接室	21.97㎡ (2階)	動物収蔵庫	28.00㎡ (4階)
地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3階)	開拓記念物収蔵庫	91.32㎡ (4階)
研究室	66.37㎡ (3階)	機械・ボイラー室	327.79㎡ (地下)
(10) 収容能力			
展 示 室	600人	市民研究室	10人
講 堂	120人	会議室	25人

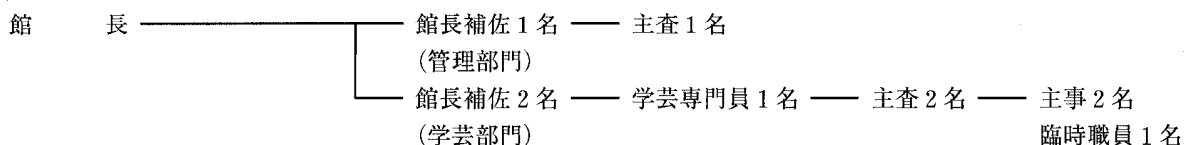
釧路市立博物館

(1) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組 織



(2) 職 員

館 長	七田 龍夫	主 査 (学芸員)	小田嶋法子
館長補佐	小林 茂	主 査 (学芸員)	加藤 春雄
館長補佐 (学芸員)	橋本 正雄	主 査 (学芸員)	戸田 恭司
館長補佐 (学芸員)	針生 勤	主 事 (学芸員)	土屋 慶丞
学芸専門員 (学芸員)	山代 淳一	主 事 (学芸員)	高橋 勇人

(3) 私の博物館企画選定委員 (任期 平成13年4月～平成14年3月)

委員長 林田 恒夫 病院事務長	委 員 新妻 賢二 会社社長
委 員 我孫子尚枝 陶芸家	〃 藤田 民子 詩 人
〃 高嶋 幸男 大学教授	

(4) 予 算

歳入予算総額	8,154千円	歳出予算総額	61,016千円
博物館入館料	7,658千円	管理運営費	57,873千円
その他	496千円	事業費	1,173千円
		資料収集整備費	198千円
		教育普及活動費	990千円
		調査研究費	782千円

(5) 平成13年度 利用状況

月別入館者状況

月 別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計	一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計			
4	25	598	13	161	772	0	0	94	94	866	200	1,066
5	25	1,238	26	351	1,615	47	0	15	62	1,677	1,046	2,723
6	26	780	14	100	894	266	60	140	466	1,360	1,334	2,694
7	25	1,155	13	195	1,363	180	137	239	556	1,919	1,642	3,561
8	27	2,235	57	714	3,006	46	0	387	433	3,439	1,915	5,354
9	24	1,108	6	150	1,264	240	0	847	1,087	2,351	2,530	4,881
10	25	888	16	99	1,003	130	266	303	699	1,702	1,657	3,359
11	23	580	4	137	721	53	0	120	173	894	1,595	2,489
12	24	241	2	38	281	0	0	71	71	352	392	744
1	21	573	10	139	722	19	36	0	55	777	668	1,445
2	22	369	5	68	442	0	0	0	0	442	597	1,039
3	26	647	25	152	824	16	0	0	16	840	520	1,360
計	293	10,412	191	2,304	12,907	997	499	2,216	3,712	16,619	14,096	30,715

4 資料収集

収蔵資料状況（平成14年3月現在）

区 分	平成11年までの累計	平成12年新収蔵資料数	平成13年新収蔵資料数	合 計
人 文 科 学	20,508	353	733	21,594
自 然 科 学	26,456	1,557	28,575	56,588
美 術 工 芸	215	0	0	215
合 計	47,179	1,910	29,308	78,397

5 調査研究

釧路湿原継続調査、春採湖のヒブナ生息調査、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査、イトヨの形態学的生態学的調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地理図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の炉址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採集・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒篋・鐙などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者を取りかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

- 1) 特別展「収蔵資料展」 4月28日(土)～5月27日(日)

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない所蔵資料を展示。昆虫・魚類・鳥類・化石・歴史資料あわせて約980点を紹介した。

2) 特別展「釧路の鉄道」 7月14日(土)～8月19日(日)

釧路駅が開業100年を迎えるのを機に、駅等施設、列車関係、職員の制服、乗車券、文書、写真等を展示した。また、関連事業として、講演会、座談会、展示解説、まちなみ散歩を実施した。

3) 特別展「アイヌ民俗資料展」 9月1日(土)～10月7日(日)

遺跡から発掘されたアイヌ民俗の生活用具などを紹介した展覧会「よみがえる北の中・近世－掘り出されたアイヌ文化」を財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構と釧路市教育委員会が主催し、道内各地から出土した13世紀以降の発掘資料など約600点を展示した。また、北海道立北方民族博物館ほか2か所の遺跡見学会を実施した。

4) 私の博物館「愛しきマスたち」 9月26日(水)～10月28日(日)

提供者中村俊幸氏。マスを中心とした魚の木彫りコレクション16点の展示とあわせて、川の情景などの写真パネルを展示した。

5) 私の博物館三村節子展「浜の“がす”～海草の押し葉展」 3月2日(土)～4月7日(日)

提供者三村節子氏。海岸に打ち上げられた海草の山を、浜の人たちは「がす」と呼び、道東の太平洋沿岸のがすの中から採取した海草類の押し葉による乾燥標本64点を展示した。

(3) 各種事業

月 日	事業名	対 象	参加者数
4月14日	釧路昆虫同好会総会		
4月19日	釧路市立博物館友の会役員会		28名
4月22日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	35名
4月29日～ 5月27日	特別展「収蔵資料展」		
4月29日～ 5月13日	人見順三氏「植物写真展」マンモスホール		
5月6日	体験講座「竹とんぼを飛ばせ！」	小・中学生	11名
5月11日～ 5月12日	「キタサンショウウオ調査」		
5月13日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	42名
5月18日	道東3管内連絡協議会役員会・総会		
5月19日	春採湖畔「草花ウォッチング」 －春採湖畔の草花を観察－	小学生～一般	46名
5月20日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」 －春採湖に生息する魚を観察－	小学生～一般	19名
5月24日	博物館友の会役員会・総会 創立30周年記念品目録受領		40名
5月27日	釧路町森林公園「探鳥会」	小学生～一般	40名
6月3日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 －釧路駅開業百年・錦町～釧路駅－	小学生～一般	24名
6月9日～ 6月24日	「タンチョウ・イラスト展」マンモスホール		
6月25日	「しらべてみよう春採湖の昆虫」 －春採湖畔の土壌動物－	小学生～一般	23名
6月10日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	15名
6月16日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	43名
6月17日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	15名
6月24日	北斗湿原「探鳥会」	小学生～一般	15名
6月26日～ 7月10日	渡邊松子氏写真展「出会いから10年エゾフクロウと共に」マンモスホール		
7月14日～ 8月19日	特別展「釧路の鉄道」～レールに刻まれた百年～特展室・マンモスホール		



特別展「収蔵資料展」



春採湖畔「草花ウォッチング」



渡邊松子氏写真展
「出会いから10年エゾフクロウと共に」

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
7月14日	「しらべてみよう春採湖の昆虫」 ートンボ池の昆虫ー	小学生～一般	20名
7月15日	特別展講演会「東北北海道地域を鉄道の変遷から考える」講師：道教育大学旭川校 今助教授 講堂	一 般	24名
7月15日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	27名
7月21日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	26名
7月22日	子どものための「磯の生物観察会」 場所：岩見浜海岸	小・中 学 生	26名
7月22日	親と子の昆虫教室	小学生～一般	51名
7月22日	「昆虫の名前を調べる会」～釧路昆虫 同好会共催 講堂	小学生～一般	29名
7月26日	「私の博物館」企画選定委員会		
7月28日	創立記念「地形・地質探訪会」 ーオンネトーー	一 般	24名
7月29日	特別展座談会「鉄道を語ろう」	一 般	14名
7月31日	博物館館務実習 8月5日迄		6名
8月1日	体験学習「せんべいをつくろう」	小・中 学 生	22名
8月1日～ 8月19日	ワンポイント展示「飯島一雄コレクショ ン マンモスホール		
8月3日	「化石レプリカ教室」アンモナイトのレ プリカ作成 講堂	小・中 学 生	19名
8月5日	子どものための「磯の生物観察会」 場所：岩見浜海岸	小・中 学 生	33名
8月9日	教師向け「博物館活用講座」	教 師	31名
8月11日	しらべてみよう「春採湖の昆虫」 ー湖畔のチョウとガー	小・中 学 生	23名
8月18日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	30名
8月19日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	28名
8月19日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	13名
8月25日～ 9月9日	「おさかなセミナーくしろ2001ーパ ネル展」 マンモスホール		
9月1日～ 10月7日	特別展「よみがえる北の中・近世ー堀り 出されたアイヌ文化ー」 主催：(財)アイヌ文化振興・研究推進機構、 釧路市教育委員会 会場：2階特別展示室、講堂		
9月2日	遺跡見学会「アイヌ文化と北方文化」 場所：北海道立北方民族博物館、網走市立博物館、モヨロ貝塚		
9月7日	博物館友の会創立30周年記念「ハーブの タペ」 1階展示室	一 般	93名
9月8日	しらべてみよう「春採湖の昆虫」 ー鳴く虫たちー	小・中 学 生	9名
9月9日	歴史探訪会「まちなみ散歩」 幣舞町ほかを散策	小学生～一般	8名
9月16日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	15名
9月16日	アイヌ文化特別展展示解説	一 般	22名
9月18日	博物館まつり実行委員会		
9月22日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	28名
9月26日～ 10月26日	私の博物館「愛しきマスたち」 ーマスの木彫りー マンモスホール		



特別展「釧路の鉄道～レールに刻まれた百年～」



しらべてみよう春採湖の昆虫



創立記念「地形・地質探訪会」



体験学習「せんべいをつくろう」



私の博物館「愛しきマスたち」

釧路市立博物館

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
9月29日	アイヌ文化特別展展示解説	一 般	22名
10月14日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	20名
10月18日	道東3管内博物館等施設連絡協議会交流 推進会議 別海町		
10月20日	第18回 ミュージアムコンサート 「チェロの夕べ」 1階展示室 演奏：毛利 巨塵氏	小学生～一般	61名
10月21日	第12回「博物館まつり」	小学生～一般	461名
10月24日～ 10月31日	巡回展「移動博物館」 道教育大附属 釧路小学校		
10月30日	「移動博物館」展示解説 「伝統技術実演会一畳の張り替え」 教育大学附属釧路小学校		
10月31日～ 11月8日	巡回展「移動博物館」 釧路創生会 はるとりの里		
11月3日	開館記念 友の会講演会 「あなたが知らない気象の世界」 講堂 講師：釧路地方気象台 藤田 英次氏	小学生～一般	30名
11月4日	体験講座「あなたも一日学芸員」	一 般	6名
11月14日	「移動博物館」展示解説はるとりの里		
11月8日～ 11月15日	巡回展「移動博物館」 寿小学校		
11月9日	「移動博物館」展示解説 「伝統技術実演会一畳の張り替え」 寿小学校		
11月14日	春採湖「ヒブナ生息調査」		
11月17日	博物館学芸員トーク 「春採湖の野鳥 の生活」 講師：橋本学芸員	小学生～一般	18名
11月18日	春採湖畔「野鳥会」	小学生～一般	20名
11月24日	博物館学芸員トーク 「釧路の鉄道百年」 講師：戸田学芸員	小学生～一般	14名
12月1日	博物館学芸員トーク 「釧路地方の洪積 層から産出する貝化石について」 講師：山代学芸員	小学生～一般	14名
12月7日	職員研修「琵琶湖博物館を訪ねて」		
12月8日	博物館学芸員トーク 「春採湖周辺の遺 跡～春採湖畔に住んでいた人たち」 講師：高橋学芸員	小学生～一般	16名
12月11日	1階展示室大黒島写真更新		
12月27日	体験講座「もちつきをしよう」 －もちつきとおもちの話－	小・中 学 生	71名
1月6日～ 2月3日	ギャラリー展示「走れ！石炭列車」 写真展：中谷 正彦氏 マンモスホール		
1月16日	「化石レプリカ教室」アンモナイトのレ プリカ作成 講堂	小・中 学 生	20名
1月17日	教師向け「博物館利活用講座」	教 師	17名
1月19日	博物館学芸員トーク 「巨大魚イトウの 話」 講師：針生学芸員	小学生～一般	40名
1月22日	「私の博物館」企画選定会議		
1月26日	博物館学芸員トーク「釧路湿原の昆	小学生～一般	40名



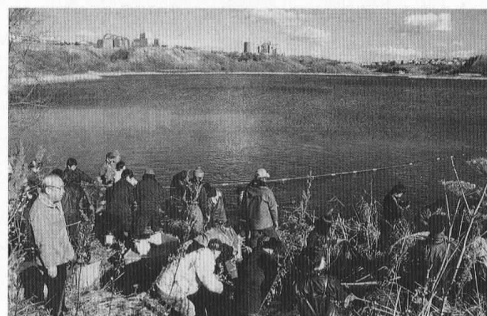
第12回「博物館まつり」



移動博物館「伝統技術実演会」



友の会講演会

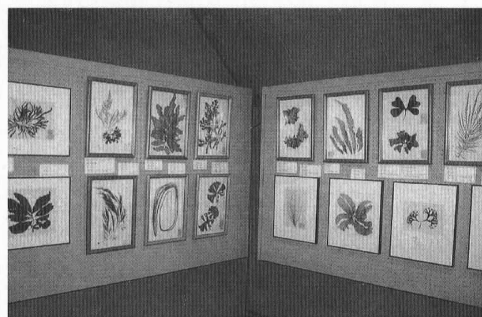


春採湖「ヒブナ生息調査」



体験講座「もちつきをしよう」

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
1月30日～ 2月1日	虫はどこから来たのか」 講師：土屋学芸員 教育大学釧路校 博物館実習		19名
2月3～4日	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」 外国人案内のための英語学習会	一 般	8名
2月6日	職員研修「釧路湿原のエコツアーリズム」 講師：釧路やちの会 佐藤 吉人氏		
2月9日	博物館講座「動物のふしぎ・生物の多様性とその保全」講師：橋本学芸員	一 般	18名
2月17日	「歩くスキーでアニマルトラッキング」 温根内木道 温根内ビジターセンター・ボランティアレンジャー共催	小学生～一般	24名
3月2日～ 4月7日	私の博物館：三村節子展「浜の“がす”～海草の押し葉展」マンモスホール		
3月9日	博物館講座「動物のふしぎ～野生の知恵～」 講師：橋本学芸員	一 般	18名
3月17日	冬の海鳥「探鳥会」 千代の浦漁港	小学生～一般	20名



私の博物館：三村節子展
「浜の“がす”～海草の押し葉展」

(4) 出版物・刊行物

釧路市立博物館館報：昭和27年1月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成14年3月号をもって376号に達した。B5版、12頁、800部、年4回刊行。

釧路市立博物館紀要：昭和47年3月に第1輯を発刊、平成14年3月に第26輯を刊行。

博物館総合案内：B5版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。

解説シリーズ：B6版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ9まで刊行。

7 協力事業

(1) 北海道博物館協会・道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力

(2) 関係団体への協力

釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会

(3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力

環境省庁

(4) 博物館実習

平成13年7月～14年2月：北海道教育大学教育学部釧路校20名

平成13年7月31日～8月6日：金沢学院大学、帝京大学、北海道教育大学教育学部旭川校・函館校各1名
東北学院大学、東京農業大学各1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2001. 4. 17	レコードほか	2	伊戸川ヨシ子
2	4. 26	銀杯・賞状・軍隊手帳・奉公袋・勲章	9	松浦尊司
3	5. 9	銘板	2	釧路市道路河川課
4	5. 9	手燭・写真	4	齊藤一明
5	5. 10	花びん	1	石塚治栄
6	5. 17	写真・書籍	91	酒井豊隆
7	5. 20	電気アイロン	1	三浦順子
8	5. 31	ひな人形・五月人形	2	菊池裕子
9	6. 8	列車表示板・行き先表示板・絵葉書	1143	柏木かをる
10	6. 13	五月人形	4	小林富三郎
11	6. 27	ゴマファザラシ	1	石黒新三
12	8. 30	棹秤・ばね秤	3	本田はる子
13	8. 30	弁当掛紙・容器・リーフレット	19	釧路館
14	8. 30	書籍	12	川村嘉子
15	11. 15	蓑	4	田上広子
16	12. 6	イトウ	1	強口照美
17	12. 13	会席膳・掛時計・エゾシカ	14	戸叶武子
18	2002. 3. 7	タガメ・コガタノゲンロウ	2	中村俊之
19	3. 28	ハガタツバメアオシヤク	6620	飯島一雄